

令和4年度 北九州市指定管理者の評価に関する検討会議
(第1回)

日時：令和4年7月6日(水)
10:00~12:00
場所：本庁舎15階 15C会議室

《議事次第》

- 1 開会
- 2 構成員紹介等
- 3 座長選任
- 4 評価の検証の進め方確認等
- 5 所管局に対するヒアリング

時間	ヒアリング対象課	評価対象施設
10:10 ~10:30	子ども家庭局 青少年課	もじ少年自然の家
10:35 ~10:50	建設局 公園管理課	白野江植物園
10:55 ~11:10	建設局 公園管理課	志井ファミリープール
11:15 ~11:35	産業経済局 総合農事センター	総合農事センター

- (1) もじ少年自然の家【子ども家庭局 青少年課】
ア 施設所管課から評価のポイントについて説明
イ 質疑応答

構成員：2番の「効率性の向上等に関する取り組み」と、3番の「公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取り組み」の評価について、評価レベル4にする根拠がやや弱い。特に、収入の増加が評価レベル4になっている理由が分かりづらかったので、もう少し説明を足す必要がある。

所管課：元々、収入の増を図るのは難しい施設。その中でも収入を増加させるため、市外利用者や、市内でも企業研修等の利用者などへDMを発送するなどし、利用者を増やしている。

構成員：経費の低減が評価レベル4になっているのは、単純に数字で見ると光熱費が大幅に減っているからだと思うが、これはコロナの影響で利用者が減って、あるいは閉めている時間が増えて、光熱費が減っているからではないのか。ただ一方で、利用者の数に関係なく基礎的な光熱費がかかるため削減できないということもあると思うが、その辺をどう評価するか難しいところ。利用者数のところはコロナを勘案して4評価になっている一方で、光熱水費のところはコロナの影響をどれぐらい勘案して4評価になっているのか。コロナを考慮すると3評価じゃないのか、という視

点も当然出てくると思うがいかがか。

所管課：施設の管理者としては、基本的な節水など節約に日々取り組んでおり、LED化を進める中で電気代が減ってきている部分も要素としてはあると考えている。

構成員：どこの施設も普通にやっていること。普通にやっていて評価レベル3なので、それ以上に頑張っているところがあると評価レベル4で良い。もし評価レベル4にするのであれば、根拠をもう少し記述していただきたい。

構成員：経費の低減の評価は、施設の特性上、経費支出の大半は人件費が占めているので、お客さんが減ったからといって減らせるわけではないという事情だとは思いますが、評価レベル4を付けるには、相当の理由説明が必要。『施設相互間で効率的な人材運用を図ることによる人件費の抑制』と記載はあるが、一方で人件費を見ると、令和2年にかけて逆に増加し令和3年に落ち着いているようで、人件費の抑制という評価とリンクしてないのではないかと。

所管課：基本的な人件費の抑制という部分は、施設主催行事や登山道の整備、地域への貢献作業など人手が必要になる際、他の施設から応援に来るなど、門司を含めて管理する3つの施設間で人員をやり繰りし対応しており、臨時的な人件費の増加が抑えられていることを評価した。

構成員：人件費の数字だけ見ていくと下がっていないが、やっている作業が増えているのにも関わらず人件費が増えてないから、相対的に考えて人件費は抑制されているということか。評価シートをパッと見ただけでは、なかなかそこまで理解していただくことは難しい。少し考慮していただく必要がある。

構成員：アンケートについて、非常に高い評価を貰っているということはよく分かるが、利用者へのアンケートというよりは利用団体に聞いているように見受けられる。利用者、個々人の方がどのように評価されているのかも、合わせてみる必要があるのではないかと。

構成員：小学校など団体で来る方が多いが、アンケートは引率の先生に聞いている。施設の設置目的からすると、子どもがどう変わったかとか、子どもがそこで何を感じたのかとか、何を得たのかとか、というのが本質的には重要なため、子ども向けのアンケートが必要ではないか。指定管理者の評価にどこまで活用するのかというのは置いて、活動を定期的に見直すなどしていく中で必要ではないか。

所管課：おっしゃる通り。今後の選定の中で、そういったアンケートも考えていきたい。

構成員：他の施設は、コロナの影響で令和元年度から利用者が落ち込んでいるところが多いが、この施設は令和元年度が1番良い状況にあるよう。令和元年度は、あまりコロナの影響を受けなかったということか。

所管課：施設の利用者の多くは、小中学校の行事で、すでに2学期ぐらいいままでに終わっていた。それから一般利用では、企業研修であったりだとか、部活動の合宿であったりだとか、やはり春時期などがメイン時期というところ。コロナの影響が出始めた3月は、ちょうど閑散期にあたり影響が非常に少なかった。

構成員：市外の方を取り込む活動は、高く評価できる。ホームページも、利用状況がすぐ分かるようにされているところは良いが、会議室の利用（予約）状況が分からないので、運用の仕方を検討していただきたい。

構成員：アンケートの利用者満足度は、すべてのアンケート項目の平均値が96.8%

あり、単純に基準に照らし合わせると95%以上は評価レベル5になる。ただ、数字だけじゃなく、定性的なものを含めての総合評価なので、これが評価レベル5じゃなくて評価レベル4なのは何故なのか、もう少しわかると良い。

構成員：平等利用安全対策のところだが、評価レベル4の根拠がよくわからない。アレルギー対応の記載があるが、これが根拠か。

所管課：アレルギー対応が1つと、海辺での活動に対する海上保安庁といった外部からの評価が非常に高いと評価を4にした。

構成員：質問やコメントを踏まえて、少し記述の見直し等ができる部分についてはご検討いただきたい。子ども向けのアンケート含めて、今すぐじゃなくても今後改善のためにできるようなことがあれば、是非ご検討いただきたい。

(2) 白野江植物園【建設局 公園管理課】

ア 施設所管課から評価のポイントについて説明

イ 質疑応答

構成員：どういう風に解釈したらいいかという問題でもあるが、こちらの施設は非常に色々な努力をされていて、利用者数のところを見ても目標値も適切に修正をなされた上で実績値を出していて非常に分かりやすい。

構成員：収入について、評価レベルに特段異論はないが、予算の組み方として入園目標が変わっても予算が変わっておらず、収入の予算決算の関係と入園者数の目標値と実績値の関係のところがうまく理解できない。どのように考えたらよいか。

所管課：入園者の目標人数が減った部分は、市の要請によって休園を行なったものは損失の補填等も行っている。予算については、損失補填も加味して組んでいるところ。

構成員：最後の決算の事業費の内訳をみると、補填額も入っているが、元々の予算の収入の入園料額を上回った入園料の収入はコロナ禍においても達成できている。それが目標値との関係性が乖離している。

所管課：令和元年に利用料金の見直しがあり、目標に対して上方修正するような形になっており、入園者数は減だが、この改正により予算を超えた決算があがっている。

構成員：基本的に予算は、目標値とリンクすると理解した。評価内容でも、その辺りが、分かるような表現をしていただきたい。

構成員：利用実績の目標値設定の仕方について、本来は令和2年が70,000人だったのを56,827人に変更して、令和3年は70,000人だったところを62,061人に変更されている。これはどういう基準か。

所管課：厳密に目標値を変えているものは、臨時休園分を差し引くような形。平成29年と平成30年を参考に、1年に占める月ごとの入場の割合を算出し、目標数70,000人の分を2ヶ年平均で割り、4月や5月の数値を設定していった。令和2年と令和3年で休園した期間も違い、桜が見られる時期に令和2年度が休園しましたため、そこで大きく休園、目標数を変えた。目標数に関しては休園だけに限定して目標数を変更している。

構成員：令和2年の目標値は、桜の時期に開園できなかったのが減らしたというのは分かるが、令和3年の実績が本来であればもっと入場者数が伸びるのであろうというの

に、その令和2年の時より下がっているがこれは何か。

所管課：コロナが丁度、流行りだしていた時期と令和3年の4月5月頃、ゴールデンウィークが明けたものの、やはりコロナの感染者数が減らず、市も国も外出自粛要請を行うといった時期が長くあった。開園はしていたが、外国人や年配の方の利用者数が多いため、公園に来て楽しむということがなかなか出来なかったのではないかと理解している。ゴールデンウィークは外したので目標値は上げたものの、やはり外出控えが続いたよう。

開園中は補填もなく、開園はするが外出自粛により利用者が来ないといった辛い時期を指定管理者には頑張っていたいただいた状況。

(3) 志井ファミリープール【建設局 公園管理課】

ア 施設所管課から評価のポイントについて説明

イ 質疑応答

構成員：平等利用公平選定のところだが、障害者の方々にのみプールを開放する取組を実施したと書かれてある部分は、『普段の利用時では気兼ねしがちな障害者の方に開放した』といった一言説明があると、この取り組みに障害者以外の理解も得られやすいのではないか。

所管課：障害者の方々は、普段の利用時では介助者がついてプールを思いっきり楽しめないという部分があるため、プレイベントとして、こうした取り組みを行ったところ。評価の書きぶりを見直したい。

構成員：利用者数のところだが、明らかにコロナの影響を大きく受ける施設にもかかわらず、目標値をまったく変更していないよう。評価をしていく上では、その年ごとの稼働日数や休日の数など、必要なデータの提示がないと評価が難しい。評価が適正かどうかということ判断できる材料を提供（記載）していただきたい。

構成員：アンケートの結果を見ると、広報に色々と力を入れているとはいつているものの、『前から知っていたから』という回答が3/4を占め、答えているのも親御さんが中心だと思われる。利用者の多くは小学生と評価にも書いてあるので、その利用者の中心年齢層の声を、拾っていけるような形を作っていただくと、今後のフラッシュアップにもつながるのではないかと。

所管課：子どもからアンケートを取ることは容易でないが方法を考えたい。

構成員：アンケート項目について、「来年も来たい」の割合が、非常に高いと根拠が載せられているが、なぜそう思ったかの理由は様々。例えば、「施設が新しかったから来たい」や「料金が安かったら来たい」など、指定管理者の役割以外の理由も含めた総合的評価。指定管理者の評価には、「スタッフの対応」といった指定管理者の努力による部分のアンケート結果を使用すべき。また、「スタッフの対応」が、95%以上が「満足」、「とても満足」と答えているようで、定量的には評価レベル5が適当なため、評価レベル4にする定性的な根拠を補足する必要がある。

構成員：収入の増加のところで、4評価になっているが、コロナの影響を勘案しても、平成30年、令和元年の数字だけで見ると、3評価が妥当だと思うのがいかがか。

所管課：コロナ以外に、台風や梅雨明けが遅かったといった外的要因を除いて評価した。

構成員：外的要因を除いて評価するのは分かるが、計算をどうしたとか根拠データの記載がなく定量的に評価したのか定性的に評価したのか分からない。定性的な部分で評価レベル4なのであれば、定性的なところの少し強調した記載や、定量的な部分であれば、その根拠データも書くなど検討いただきたい。

構成員：平等利用安全対策のところだが、看護師が常駐しているのは、すごく高評価ポイントだがそれ以外のところで、4評価にする根拠が分かるように評価内容を記載いただきたい。

構成員：水道光熱費だけ取り出した比較を記載するなど、根拠が分かるよう記載の見直しをいただきたい。

(4) 総合農事センター【産業経済局 総合農事センター】

ア 施設所管課から評価のポイントについて説明

イ 質疑応答

構成員：賑わい作りや集客についての取り組みを結構実施されている事が分かった。

構成員：1番の評価が評価レベル3になっているが、休園日を除いた目標値や利用実績の比較データはないのか。その結果によっては評価レベル4でも良い。

構成員：評価の理由に、『令和2年度以降はコロナの影響で積極的なイベントや広告が実施できず、支出が抑えられた』とあるが、コロナといった指定管理者の責じゃない部分で評価したように受け取れてしまう。

所管課：指定管理者の努力部分での評価に修正したい。

構成員：評価の文章の最後に『コロナが理由で支出が減っています』とあると、指定管理者が努力していないように受け取れてしまう。表現の問題なので再検討いただきたい。

構成員：経費を削減することだけが指定管理の目標ではないと思っている。絞れば絞るほど良いという訳ではなく、適正に、皆さんに楽しんでもらえるような施設、魅力ある施設にさせていただくことが大目標。必要な経費は、当然にして支出いくべき。

構成員：評価シート3ページ下の④効果的な営業・広報活動について、ホームページとかSNSを活用し非常に頑張っている、という記述がある。しかし、次ページの評価の理由の所で、3つ目にホームページやSNSの活用による効果的でタイムリーな情報発信を行う事が望ましい、とある。これは、SNSを上手く使っているのか、使っていないのか、どちらかよく分からないが、これはどういうことか。

所管課：情報発信を一生懸命行っている点は評価しているが、一方で、タイムリーな情報発信になっていない課題がある。

構成員：その内容がわかるよう、書き方を少し工夫していただくと良い。

構成員：これは農事センターだけではないが、「新電力に切り替えて電気代を下げた」という評価について、これは指定管理の努力の1つでいいと思う。しかし一方で、この1年ぐらい、新電力の市場変動型の電気代がかなり上がっているという状況があ

る。実は前から、今は安い市場変動型だから、上がる時もあると言われていた。
もし次回の評価時に、「新電力にしたせいで値上がりした」というのがあった場合、指定管理者の責任としてマイナス評価をするのか、外部要因としてそこは評価にいけないのか、どうしたら良いと考えるか。

所管課：安い所を探して、電気代経費を削減したという点は、指定管理者の努力として評価したい。ただ、ウクライナ情勢もあり石油価格が上がっている状況は、外部要因になるので、その所は考慮して評価したい。

構成員：指定管理者には、市からの経費削減の圧力がかかっており、目先の利益で安い所と契約してしまっている状況もあるのではないかと。

上がった時に、指定管理者が努力していないから、と評価されるのは可哀想だと思うが、そこはどう評価したらいいか。

事務局：問題提起いただきありがとうございます。重要な問題だと思うので、状況注視しながら、それに応じた評価の基準なり尺度なりを考えていきたいと思う。

今回評価については、まずは、下げる努力をしたという部分で、評価ができるのではと思う。

6 第1回とりまとめ

構成員：休園日を除いた達成率が少し話題としてあがったが、白野江植物公園の評価に記述されていた内容は、一般の方も納得しやすいと思う。施設の特性などもあり、機械的にやると却ってマイナスになった所もあるので、できる範囲で他の施設でも記述方法を参考にしていきたい。

7 その他（次回会議について）

8 閉会